



釣船圖卷之三

一渡海 瀬来涯丸船 平船

此四被名物

渡海平船 是者海船

瀬来涯丸船 是八川船

一何七簀負有 花床片云

一何七三ツ鎖 壹筋有方軸先

式筋有方船體

一何七鎖ハ船級工上ケテ可付三ツ

鎖之間高リ

船具

一脱ホ檣ホシラ櫓ウラ楫カヌエ棹カヌエ鉋カヌエ打カヌエ鉋

乱破 十量力 合渡 万字 鉋

味方 鉋 留指 膝 胴突 調子 木

鎖之間高ク

船具

一 帆ホ 檣ホシ 櫂カキ 楫カキ 棹カキ 鉞カキ 打鉞
 乱破 千量力 合渡 万字 鉞
 味方 鉞 留指 膝 胴突 調子 木
 一 船先 龍頭 有シ 船尾 有シ
 龍頭之船ト云 紋有モ 同ニ 云

一 龍之紋有シ 龍之船ト云
 一 乱龍之紋有シ 乱龍之船ト云
 一 海之紋有シ 瀬戸船ト云
 一 水松有モ 瀬戸船ト云
 一 魚之紋有シ 海土小船ト云
 一 貝之紋有シ 海土小船ト云
 一 苔藻之紋有モ 海土小船ト云
 一 蓮之紋有シ 御法之船ト云
 一 唐草之紋有シ 唐草之船ト云
 一 浮雲之紋有シ 欽河之船ト云
 一 浮雲之紋有モ 桂船ト云
 一 唐鳥之頭有シ 荏舟船ト云
 一 唐鳥之紋有モ 荏舟船ト云

此外

一 目録之紋有シ 京極道 卷老 亦持
 有シ 善光院 殿之掛 池同ニ 六
 糸船 八池 船ト云 慈照院 殿御
 六月定之時 池除儀 付此目録之外
 一 御成之釣船 八太寺 成 渡海船
 花木 三 船具 不殘 五ト見上
 儀 概 込 入

式目定之時沚除後三舟此目録之外
一御成り之釣船ハ本成ル渡海船ニ
花木ニテ船具不残_ルト見_レ工
後極_ニ深_ニ入_レ

一上座工船面シ掛テ入船ト云

一下座工船_面シ掛テ出船ト云

一海船ハ泊リ有リ

一川船ハ泊リナシ

一海船ハ着ト云

一川船ハ着ト云

一海船ハコグト云

一川船ハサスト云

一船ヲハシルト云

一船ニ幕ヲハシラヌト云

一船ハ花ヲ入ルト云

一夜入船_登入船_夜出船_登出船

至泊リ船_夜泊_船ト云事有リ

此三ツハ花ニテニセル見分ル人

モ之_ノ故_ニ出入泊リ之_ノ求_ルハ略ス

花入船ノ法

一花床之下ニ平目有_ル石と床を

山_ノ入水_ニモ入_レ向_リハ水ニテ

又ラニ釣上テ並花ハ立_テ入_レ

花と勝_ルナ_リ由_テ季_ノ物_ノ船_ノ

トモニ扱_テ力_ヲ打_テ足_ヲ打_テ入_レ小_ノ力_ノ

布巾_ノ水_ヲ添_テ下_ニ並_テ草_ノ木_ノ

元_ト凡_ク切_リニ_テり_テ草_ノ木_ノ

此_ノ名_ヲ費_テ了_ル平_目指_込又

又ラニ釣上テ虫花ハ立テ入ル

花と勝子よ利ある物船

とも抜へる打立足打入小口ホ

布巾ホと添持下ニ虫草木之

えと見え切りニテ入り草木

此名を交交する平石指込又

小石の長り多るを懐中しし

け石より草木れをくまきと

取石より也式八根指小石より

ありしやうしとつ石と人の見

れ下ニ釣船持する人より多る時

石と懐中する地より田舎ニ合

まニ揚とつけ草木立其花の

縁を元枝より葉より櫓櫂

鉄船あるのを花と見せ其不

かろうし船をわりのさしは

長く短く多くりり前後た右

はり合うし入事すこ

端は大きなる花とつて入

りよ船のいさきて水に

はり合うし又草木の縁と

とくつし草木のこま

あまふし虫花の枝梅葉

ふのき花の風をりり

云事をもく入り船をい

草木枝葉花ありり

ふのき

一泊り船時を葛花河

の教

ふのき花に因りてりわらふと
云事よきなり船をいよ
草木枝葉花ありてらひ
ふのき

一白り船に時を暮る何^{的教}
か不^教父^教子^教を^教後^教本^教道^教
忍^教を^教の^教也^教ん^教る^教る^教也^教
お^教の^教一^教無^教下^教に^教け^教時^教を^教櫓^教と
何^教の^教も^教と^教云^教り^教う^教ま^教う^教あ^教は
て^教を^教い^教う^教大^教い^教け^教つ^教あ^教り^教

の地事

一海枝由葉花に事

一花と葉と地事

一綴に枝葉花と事

一重枝守葉守花と事

一葉此と葉と花中事

一葉と花と別らあつよ余

此地入事

一虫喰葉枯枝枯葉入事

一船の紋立隠事

一葉花枝水に別し事

一花一葉四花四葉六花

六葉と事の大方事

一釣不八床之シトニカケ内事

一打釘の事

一釣香炉も事

一釣花籠も事

一船津釣之時を花に事

一花一葉曰花四葉六花

六葉一葉曰一大方曰一大方

一釣不八床之シトニカケ内中

折打の并

一釣香炉も因本

一釣花籠も因本

一船津釣之時を花石を

少中一又

一花把釣之時八花石を法山

一又

一花之入一船ハ多々よ利立

まゝ少勝子かめそ船物

船とらん時ハそと人よ利立

まゝ勝と少かめそ船乃

致成ハまてハそとのあつと

まゝつとらん船あり

此釣船回答之巻者

東山殿御或目定也池坊家

能為秘本依為牙子令可入儀

空相傳者也之秘

元禄九年

洛陽六角堂

池坊家專好法印養子

同州

妙満寺内玉琳坊專秀甥

山本養説昌庵

九月吉日

專養吉慶

曾隆常右衛門殿工

松平豊後守様前

田軍平殿

一船軍九種之道具

一折帆者一イカリヤウミンテ

舟の... 船乃
紋或いは... の... と
さう... あり

此釣船回春之巻者

東山殿御或自定也池坊家
誰為秘本依為分子令可入儀
互相傳者也... 秘

元禄九年

洛陽六角堂

池坊家專好法印養子

同所

妙満寺内玉琳坊專秀錫

山奉養院昌庵

九月吉日

專養寺

曾隆常右衛門殿工

不卒其之後守極

一船軍九種之道具

田軍平殿

一折釘者

イカリヤウミテ
一舟ヲヨスルモノクサリ可付

一乱破者

荒モノヨク濁シ付
可付幕ヲ破ルモノ

一千量力者

金ニクサリ付此方之
船ニルモノクサリ付

一胴ツキ者



カナツキヤウミト船シハ物

一万字釘者

先ツシモクニラシテ

一味方釘者

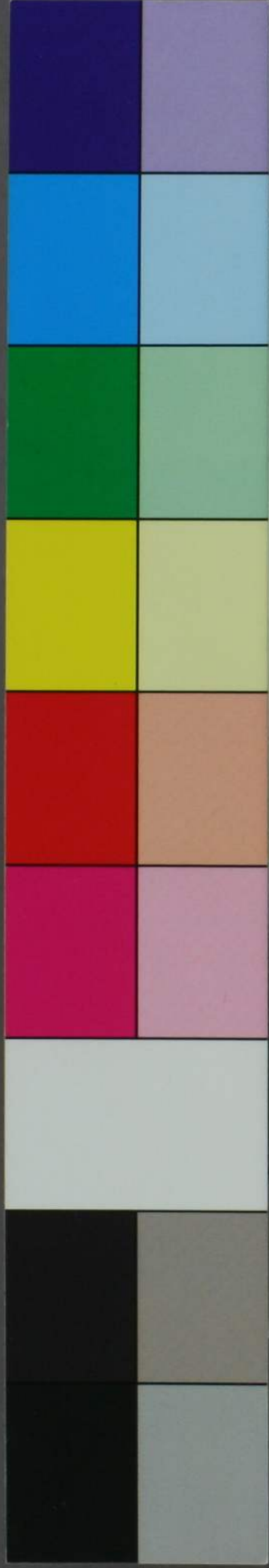
御方ノ味ヲタヌケシタメ丸クシテ
元付ヨキ物ノ水ニ上ル物ノ付

一宙指勝者

年月ノトクニ大指勝ニテ
船ニラケハ余ノ船不

一合渡者

表子木有リ又表木ト云又調子器ト云
道具表木ト云船具之合礼禮也



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1



花
口
傳
書
新
刊
居
卷

特 別
ヲ 9
4093
2